

○ 第3回ワークショップ

- 日時：令和2年11月15日（日）10:00～12:00
- 会場：西播磨総合庁舎
- 参加者：18名

【当日プログラム】

- 10:00～ あいさつ・本日の説明
- 10:05～ 前回の振り返り、作業の説明
- 10:20～ 【意見交換】 30年後の未来を描く問いかけについてグループで話し合う
- 11:40～ グループごとに発表 まとめ
- 12:00 終了

【テーマ・タイトル】

同じテーマ何に意見が対立して見えるのはなぜ？

	VS	
--	----	--

【対立が生じている原因の詳細】

-
-
-

【対立を解消する方法】

【当日の内容】

前回同様、参加者を在住地域が混在するように4グループでワークを行いました。第2回ワークショップで出された意見を再構成し、「同じテーマなのに認識の違いによって対立しているように見えた意見は、30年後のビジョンを左右する違いだったのではないか」「一つ一つの意見を見つめることで、ビジョンを作る手掛かりが見つかるかもしれない」と仮説のもと作成した9個の問い合わせについて、グループごとに結論を出す作業を行いました。白熱した活発な議論が行われる問い合わせもあれば、なかなか結論が出ないものもあり、1つ1つの問い合わせについて深く考え方交換を行いました。改めて西播磨地域が多様性な地域であることを理解し、参加者からも、「だんだん楽しくなってきた」「いろんな考え方を聞けて良かった」などの声が聞かれていました。



設問①

30年後には、公共交通のインフラって充実させるべきなのか、なくしていくべきなのか？

« みんなの意見 »

Aチーム	Bチーム
<ul style="list-style-type: none">・公平性を保つため、インフラの充実は必要・現在の公共機関のシステムであれば無くて良い。 <p>多様性を考えると個々の対応力が必要となるから</p> <ul style="list-style-type: none">・経済活動の為にはインフラの整備は必要・充実させるべき。十人十色で車に乗れない人、乗 りたくない人もいると思うので・公共交通…サービスと見える。そこの人たちの生 活が成り立つならいいが、高齢者が対応できるの か。それらを実施するのに費用・予算などが準備で きるのか、継続できるのか <p>《チームの結論》</p> <p>充実させるべき</p>	<ul style="list-style-type: none">・年寄りはPCを利用できない人がいる・なくしたらダメ・交通の概念が変わる。移動（生活面）が少なくなる・人口減少に合わせて利用者が減る→充実×・近場は不要。店等からやってくる。IT・充実〇。ローカルバスは必要。高齢化は必至なの でローコストで利用したい <p>《チームの結論》</p> <p>充実させるべき</p>
Cチーム	Dチーム
<ul style="list-style-type: none">・行って見て発見もある。ある方が良い・外から的人が困るので、あった方が良い・今とは異なった形で充実（自動運転、集合住宅、 IT充実）・財政難によりインフラ整備が困難になる。なくし ていくべき・すべての地域に公共交通は充実できないので、併 用 <p>《チームの結論》</p> <p>なくしていくべき</p>	<ul style="list-style-type: none">・行動範囲が広いことは良いこと・すべてがオンライン診療ですまないので、公共交 通は必要・人口減少により運営できなくなる。なくしていく・都会は発展により必要ないけど、田舎はないと困 る <p>《チームの結論》</p> <p>充実させるべき</p>

設問②

30年後の観光は、これまであるもので勝負するのか、新しいものを用意するのか？

« みんなの意見 »

Aチーム	Bチーム
<ul style="list-style-type: none"> 新しい施設を作るより、今あるものを活用することが大事 これまであるものを活用。歴史文化の伝承をするためにも 観光について30年後はあまり考えない方が。現在も魅力的なところがかなりある。 その地域にある物、ことを掘り起こすことが必要！伝統も大切!!それにプラスする。ここにあるもので!! 新しい施設の誘致はするべきだが、西播磨で修学旅行のルートの誘致など、広域で取り組むことが重要 <p>《チームの結論》</p> <p>これまであるもので勝負する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大自然観光で勝負する。充実・整備（ルート） 西播磨の資源を活用する価値あり。人口減少により新規事業は対応しにくい 新しいもの×。造って壊すはいらない。 古さで勝負！ 都市部との差別化（地域資源の活用）しつつ、これまでのもの <p>《チームの結論》</p> <p>これまであるもので勝負する</p>
Cチーム	Dチーム
<ul style="list-style-type: none"> 子供たちの体験の為、必要 歴史的観光資源は大切にしながら、新しい観光拠点も設ける これまであるものを更に活用すべきである 歴史的な観光は大切 今ある遊戯施設を時代に合わせていく <p>《チームの結論》</p> <p>これまであるもので勝負する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今あるものを活かし、新しい時代にあったものに 古い物をいかして、新しいものも必要 どちらも必要 あるものを活かす。時代に合うデザイン <p>《チームの結論》</p> <p>これまであるもので勝負する & 新しいものを用意する</p>

設問③

30年後、自分たちの子・孫たちに西播磨で子育てしてほしいと思う？

« みんなの意見 »

Aチーム	Bチーム
<ul style="list-style-type: none"> ・はい。豊かな自然と恵に感謝できる場所を増やして！ ・魅力が続くのであれば、西播磨で子育てしてほしい ・西播磨で子供を育てる子供・保護者・教師の信頼関係の充実した子育て ・ほしいと思う。環境のよい瀬戸内式気候の下で育ててほしい。但し、一時的に他地域の空気も感じてほしい ・自然と共に、またICT化を取り入れていくことを考えれば西播磨で子育てはしてほしい <p>《チームの結論》 子育てしてほしい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・廃校にならない程度に学校を残してほしい ・体験型の教育 ・思う。少人数クラスで手厚い授業 ・西播磨の良さをなくさないでほしい。西播磨の良さを高めて欲しい ・子育て環境、施設を将来的に集約化した上で、子育てしてほしい <p>《チームの結論》 子育てしてほしい</p>
Cチーム	Dチーム
<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かな町で子育てしてほしい ・豊かな自然環境の中で伸び伸びと育てたい ・子育てしてほしいが、働く場が無いので住めない ・先祖代々の流れを絶ちたくない。“ふるさと” <p>《チームの結論》 子育てしてほしい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かな場所で子育てを ・ある程度自然がある場所で子育てしてほしい ・してほしくないのに自分が住んでいるのはなぜ？ ・オンラインによる教育と自然を生かせることもできる西播磨に <p>《チームの結論》 子育てしてほしい</p>

設問④

30年後の西播磨は、伝統を守っているべきか、新しいものを取り入れているべきか？

« みんなの意見 »

Aチーム	Bチーム
<ul style="list-style-type: none"> ・気質から変えないとダメ!! 取り入れるという姿勢が大切。伝統の価値観を共有して取り入れる ・伝統を守るために新しいものを受け入れることも大切 ・両立。古き良きものを守りつつ、新しきものを取り入れる ・時代に合わせて変革は必要。守るべきものは守る（定年の導入） <p>《チームの結論》</p> <p>伝統を守るべき & 新しいものを取り入れるべき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性のある伝統が多いので充実（保護）変えることが重要 ・伝統を守りつつ、変化を受け入れることも大事。西播磨の個性を守りたい。新しいもの〇 ・どちらも大事。古きを残し、新しきを育てる ・新しいものを取り入れる。価値観の多様化に合わせ、伝統を変えていく <p>《チームの結論》</p> <p>本質は、伝統を守るべき</p> <p>関わり方は、新しいものを取り入れるべき</p>
Cチーム	Dチーム
<ul style="list-style-type: none"> ・常に変化は必要 ・先代があつての今。伝統を守っていくべきである ・地域の伝統を守りながら新しい伝統を取り入れる ・守るべき伝統があり、変化しなければいけないこともある <p>《チームの結論》</p> <p>伝統を守るべき & 新しいものを取り入れるべき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りなどは新しいことを取り入れ守る ・伝統を守るのがいいと思うが、新しい人がやりやすい方法でやるべき ・伝統を守りながら、新しいものを取り入れるべき ・今までの伝統を伝えつつ、新しいものを受け入れて生活に合わせ <p>《チームの結論》</p> <p>伝統を守るべき & 新しいものを取り入れるべき</p>

設問⑤

30年後の自治会は、今の形で存続していたほうがよいか？なくなっていたほうが良いか？

« みんなの意見 »

Aチーム	Bチーム
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の存続は大切。コミュニケーションを取る手段の見える化。人人とのつながり重視の思いで！ ・地域に人がいる限り自治会は存続すべき ・自治会が高齢化にて運営が難しくなるということから、行政の人と民間との協働システムの構築 ・存続してほしい。最近個人のプライバシー権利を主張する人が増。もっと近所や地域のことを大切に考える人が少なくなった ・自治会役員の存続、仕事内容を周知する必要 ・自治会でできることを把握する 《チームの結論》 存続していたほうがよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会は縮小して連絡程度。本来は行政に移管すべき ・今のような集金、回覧板、祭り…のような自治会の仕事は効率化してほしい。古い形式は変化してほしい ・地域のコミュニケーションが薄れる。できれば継続を→将来的には難しい ・回覧板はオンライン化 ・コミュニティ維持だけの機能（隣保規模でOK） 《チームの結論》 なくなっていたほうがよい。規模やIT化など形を変えてコミュニケーションのための存続は必要かも。
Cチーム	Dチーム
<ul style="list-style-type: none"> ・形を変える理由。地域では人口減少により自治会が成り立たない ・回覧板は廃止してメールとする ・自治会の役割を見直し、役員の負担を少なくする ・人が少ない。いろいろはできない ・お金を出してシルバーの人にやってもらう ・自治会の仕事丸ごと事業委託する 《チームの結論》 形を変えて存続していたほうがよい	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会も女性の参加を ・子供会や婦人会が次々なくなっているので、自治会はある方が良い。ないと困る ・（IT化など）新しい形で続けるべき ・顔を見ることが大切なので必要。防災、コミュニティ 《チームの結論》 存続していたほうがよい

設問⑥

30年後の就労環境は、都市的大企業型がよいか、地元ベンチャー中小企業型がよいか？

« みんなの意見 »

Aチーム	Bチーム
<ul style="list-style-type: none"> ・大型企業と中小企業が共に成長していくことが大切 ・若者が地域に残るために中小企業型が必要 ・内需が人口減少の影響で減るので、今あるものを活用し、新しい産業を見出す ・どちらともいえない。どちらも良否があるので、結論は出ない。但し、その地域の状況にもよると思う ・大企業の誘致は必要。地元を守る取り組み（行政主導） <p>《チームの結論》 地元ベンチャー中小企業型がよい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便利なところで仕事したい ・リモートを利用して空き家などでも大企業の支所に活用してほしい。何でもOK ・現状では働く場所が少ない。大企業、中小でも良い。地元へ誘致を ・大企業型。リモート環境整備。ワーケーション。税収安定 <p>《チームの結論》 都市的大企業型がよい & 地元ベンチャー中小企業型がよい。来るもの拒まず。</p>
Cチーム	Dチーム
<ul style="list-style-type: none"> ・出来る人ばかりでない。公務員にする ・都市的大企業がまちの活性化が期待できる ・能力があれば地元ベンチャーを立ち上げる ・リモートなどを利用して大企業型を地方に広げる <p>《チームの結論》 地方型大企業がよい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の中小企業型にガンバッテほしい ・世界に通じる製品作りを ・大企業にばかり頼っていたら、大災害などで困ることがある ・経済的には大企業。地域の為には中小 ・生き方の多様性で地方にベンチャーを入れることで多自然地域も生かされる <p>《チームの結論》 都市的大企業型がよい & 地元ベンチャー中小企業型がよい。</p>

設問⑦

30年後の農業は、今の形で存続しているべきか、無理して存続しなくてよいか？

« みんなの意見 »

Aチーム	Bチーム
<ul style="list-style-type: none"> 今の形でなく農業の担い手の育成と農業の価値観を高める!!（農作物…地元で使用するなど） 今の形で農業は存続できるのか？ 稼げる農業の体制づくりの構築 農業を新しいシステムにて存続する 大規模化にならざるを得ない 存続すべき。基本産業であり、衣食住の「食」にあたる。機械化、IOT化を目指して <p>《チームの結論》 存続しなくてよい（農業に対する考え方を変える）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大農業化にして、ハウスを利用 違う形で存続。IT化 今の農業政策では存続できない。安心して生活できる収入が必要 ICT・無人化。 法人化（大規模化） <p>《チームの結論》 存続しなくてよい。 効率化で存続しているべき</p>
Cチーム	Dチーム
<ul style="list-style-type: none"> 超大型農業を進め、存続していくべきである 機械化して省人化を図り、農業は存続する（させる） 食料自給率の維持のため、農業は存続させる 政策がわるい 存続してほしい。地域のブランド大切に <p>《チームの結論》 存続しているべき</p>	<ul style="list-style-type: none"> おいしいお米や野菜は農家で安心に作ってほしい（食べたい） 食の安全安心 自給自足いる！ 自給自足の確保が必要 <p>《チームの結論》 存続しているべき</p>

設問⑧

30年後にも、地元でとれた作物を中心とした食生活であるべきだろうか？

« みんなの意見 »

Aチーム	Bチーム
<ul style="list-style-type: none"> 各自が自給自足の精神で畑を作つて作物を育てる 農業のためにも、地域のためにもローカルフードは大切 定年後の生活充実のためにも地元で作物を作る あるべき。食べる人も作物を作り収穫の喜びを味わう。自給自足で行きたい 家庭菜園の推奨 地元の食物を喰うように <p>《チームの結論》 地元中心であるべき</p>	<ul style="list-style-type: none"> 流通整備して「地産地消」するべき。〈有機〉 家庭で水耕栽培 地産ブランド化（室津のかきのように） 今、全播磨人が食べていない（一部のみ）地元の野菜を食べられたら良いと思うが インターネット通販。流通の進化に期待→地元中心× <p>《チームの結論》 地元中心でなくてよい</p>
Cチーム	Dチーム
<ul style="list-style-type: none"> 地元の味。その季節の味 地産地消。流通コスト低減のためにも存続する 地元でとれる安全な作物を中心とした食生活であるべき 地元の食材を大切にしたい 国内で安心して食せる物なら効率よく作れるものも良い <p>《チームの結論》 地元中心であるべき。国内限定で地元中心でなくてよい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地元の野菜はおいしい 美味しいものはずっと食べたい 災害・国難時に強い 力が見える農業（作物） <p>《チームの結論》 地元中心であるべき</p>

設問⑨

30年後に、「都会」と「田舎」はどっちがステキだと思われているだろうか？

« みんなの意見 »

Aチーム	Bチーム
<ul style="list-style-type: none">田舎♡心のよりどころ。生活…生きるということの原点!!都会が田舎に、田舎が都会になっているかもしれない、どちらもステキ田舎。自然の中で生活した方が心にも体にも良いと思うどちらともいえない。どちらとも良いところがあり、その時の状況に応じて考えたい田舎。自然を感じられることはありがたい <p>《チームの結論》 (便利な) 田舎</p>	<ul style="list-style-type: none">西播磨は自然を楽しみたいので田舎田舎。珍しい存在でありたい田舎の顔をした都会。ITやWi-Fi環境をフル整備した最先端スタイル都会は住むところではない。田舎が良い都会。オンラインが進化しても。便利・情報充実については 都会>田舎 <p>《チームの結論》 田舎</p>
Cチーム	Dチーム
<ul style="list-style-type: none">都会はつかれる。せわしい。歩くスピード生活に便利な都会がステキ。高齢化になると…個人の好みによって変わる。田舎に暮らしたまに都会が良い物流が止まるとすごく困る何を魅力と感じるか。文化・芸術・情報は、都会。自然は田舎 <p>《チームの結論》 個人の価値観による。どちらも…必要！</p>	<ul style="list-style-type: none">若い時は田舎。老いたら都会都会に憧れるが、たまに遊びに行けばいい。住むのは静かな田舎がいいまつりなどコミュニティが発達している田舎がステキ人それぞれの価値観によるので何とも <p>《チームの結論》 田舎</p>